

平成29年1月17日

日刊自動車新聞(3面)に掲載されました

日東精工 CFRPに直接締結

タツピング ねじ開発 部品軽量化に貢献

日東精工は、雌ねじなどを
使わずに炭素繊維強化プラス
チック(CFRP)の部材を
(「タツピング」)できる「セ
ルフタツピンねじ・CFタイ
ト」を開発したと発表した。
CFRPでは難しいとされて

いたタツピングに対応したこ
とで、部品などの軽量化に貢
献する。自動車部品メーカ
ーやスポーツ用品メーカ
ー向けに販売していく。
CFRPを高強度で締結す
る場合、リベット材やインサ

ートナットが使われている
が、作業性の改善、締結部品
の重量低減などが課題となっ
ていた。同社が開発したCF
タイトは、ねじ先端部や首下
部を特殊な形状にすることに
で、高トルクの締め付けによ
る炭素繊維の剥離、破壊を防
ぐ。締結作業の時間短縮に加
え、ねじ部品の点数削減によ
る軽量化、コスト削減などに
も寄与する。